

# 肺がん早期発見へ ～低線量CTという新たな選択肢！～

令和5年4月15日発行

放射線技術科



## 肺がんの現状 (2016調べ)

日本での肺がんは、がん部位別死亡率において**第1位**(7.4万人)、全体の**19.8%**にも上り、肺がん罹患後の死亡率は男女ともに1位、特に**男性は女性の2.6倍高い**ことが分かっています



## 喫煙と肺がんの関係

喫煙は全てのがんの発症リスクを上げる・・・ 男性2倍 女性が1.6倍に増加  
肺がんは一番喫煙の影響を受ける・・・男性で**4.8倍** 女性で**3.9倍**に増加  
※特に男性が高いのは、同じ喫煙者でも喫煙本数が多く、喫煙年数が長いため



## 早期発見には検査が大事！でも・・・

肺がんは早期発見が難しく、進行がんとして多く見つまっているのが現状です  
なぜ？・・・実はがんは初期の大きさだとX線検査では写りにくいのです！！

(X線画像のみでの感度(発見率)は59.6%~73.5%)



## 低線量CTがあることをご存じですか？



○低線量CT検査とは？…通常のCT検査より線量が少なく、被ばくを抑えられる事が特徴  
初期の肺がん検査に有効とされています

(低線量CT検査で発見された肺がんの内、初期が82~91%)

通常の検診では見落とされてしまっていたものも早期発見できるかも！

当院では通常の胸部CTの被ばく線量と比較して約1/10の線量でお受けいただけます

※当院で導入している機器です



## 低線量CT検査はこんな人におすすめ！

40歳以上の男女及び、家族に肺がん患者がいる方、喫煙者または喫煙歴がある方

被ばくが気になる方でも比較的安心して受けられます

詳細は、健診センター、または放射線科までお気軽にお問い合わせください



治り得る時期の治りうる大きさで肺がんを検出し、  
早期発見、早期治療に低線量CTをお役立てください